

この夏、身近な芸術に触れてみよう！

芸術は「自分にはちょっと難しい」と思っていませんか。
芸術を楽しむのに難しい知識などは必要ありません。
肩の力を抜いて気軽に楽しむことで、見る人の心に語りかけてくるのが芸術です。
この夏は身近な場所から芸術に触れてみませんか。
今月は厚別区内にある身近な芸術を紹介します。

この特集に関するお問い合わせ
総務企画課広聴係 ☎895-2428

1 捷しょう

～北の大地と風に向かって立つ～



作：国松明日香氏

厚別公園競技場を主会場に開催された「はまなす国体」を記念する高さ約16mの鋼鉄製のモニュメントです。

場所 厚別公園内
(上野幌 3-1)

見どころはここ！

広大な北の大地と風に向かって立つ人々の雄々しい姿が表現されています。



2 いちばん星

～また明日も良い一日を迎えたい～



作：小野寺紀子氏

厚別区誕生 10 周年を記念して、厚別区民ふれあい推進会から寄贈されたブロンズ像です。

場所 厚別区役所正面玄関前
(厚別中央 1-5)

見どころはここ！

一日を終えていちばん星を仰ぎ、「また明日も良い一日を迎えたい」そうした思いを込めた作品です。



3 バブル・ブーン

～楽しいおしゃべりが聞こえてきそう～



作：永野光一氏、松隈康夫氏

ひばりが丘団地の中にある「ひばりが丘西公園」の整備に併せて設置された黒御影石の向かい合う彫刻です。

場所 ひばりが丘西公園内
(厚別中央 1-3)

見どころはここ！

「バブル・ブーン」は、楽しいおしゃべりという意味です。二つの彫刻がおしゃべりをしているようです。



4 水の遊び 四つのポンプ

～楽しい動く彫刻～



作：伊藤隆道氏

札幌市青少年科学館の前にある「科学館公園」には、それぞれ異なる仕掛けで水をくみ上げる、動く彫刻「水の遊び 四つのポンプ」があります。

場所 科学館公園内
(厚別中央 1-5)

見どころはここ！

水をくみ上げる仕掛けが面白く、科学への興味も膨らんでくるようです。